

統合小学校のコンセプト

学習環境の変化に柔軟に対応できる『フレキシブルスクール』

※柔軟・順応性がある

①柔軟性や多様な学習環境を生み出す「コンパクト分棟方式」

- 学習環境の変化や改修などにムリなく対応できます。
- 各部屋に自然光が入りやすいように、校舎棟、交流棟、体育館棟の3棟からなる分棟方式とします。
- 地域に開放する交流棟と体育館棟を分離することで管理区分を明確にします。
- 校舎棟には1階に管理部門と教育相談室、通級指導教室、調理室を設けます。2・3階に普通教室と特別教室を配置。

②明確なゾーニングで多様な学習空間を

※機能や用途別の区別・区画

- 学年単位の活動等を考慮し、同一学年が同一階、同一区画とします。
- 普通教室に多目的スペースが隣接し、学年全体で利用できるように計画します。
- 特別支援教室は各階に設け、各学年との連携が図られるようにします。
- 通級指導教室と教育相談室を保健室や職員室に近接させます。
- 職員室は安心、安全のため、昇降口やグラウンドがすぐに見えるようにします。

③児童の活動と学びをつなぐ中心空間『ラーニング commons』

※読書・学習・情報センター

- 校舎棟の中心（2・3階吹き抜け）にラーニング commons（図書交流空間）を配置します。
- 主要な動線部分にあり各学年の多目的スペースと隣接しているため、様々な活動に便利に使い、一体的なにぎわいを生み出します。
- 2・3階をつなぐ大階段と合わせて利用することで、「調べる」「まとめる」「発表する」といった活動の一連の学習が可能になります。
- ベンチ、テーブル、カウンター、デン等を設け、
※多目的に使える小さな部屋
高学年の個別学習、児童の集い、クールダウンスペースなど、多様な居場所として利用できます。

← 次のページではより詳しい平面図(案)と主要な空間のイメージをご紹介します



統合小学校建設に向け設計作業を進めています

※画像は令和6年2月時点でのイメージです。今後変更になる場合があります。

